

【地域別計画】中粕川地域の復興地域づくり計画

1. 中粕川地区の復興地域づくり方針

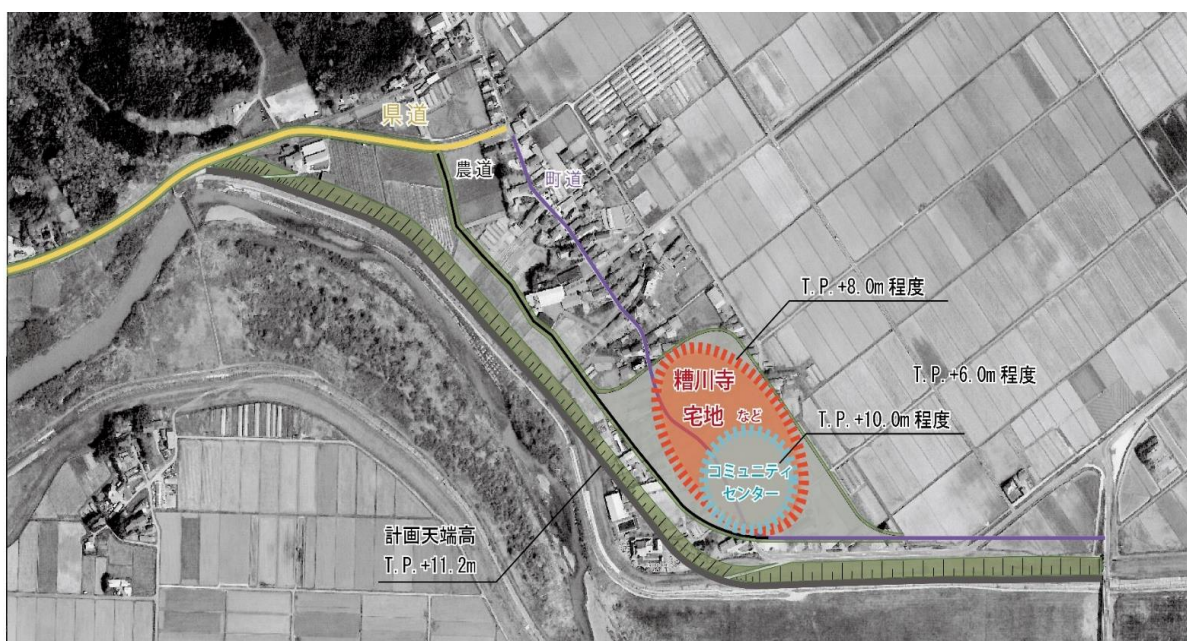
令和元年東日本台風（台風第19号）に伴う一級河川吉田川の越水・破堤による出水により甚大な被害を受けた中粕川地区においては、国土交通省による吉田川堤防改修により、被災前に比べても堅固な堤防の整備、また河道拡幅による河川断面の増大を図ることによる洪水対策が進められています。しかしながら、近年の気候変動による影響が予測しにくいことから、今後の復興地域づくりにおいて、万が一の危機対策を考え、速やかな生活再建が可能な地域づくりを進めるとともに、持続可能な地域の再生を図っていきます。

2. 基本方針

(1) 安心して暮らせる地域づくり

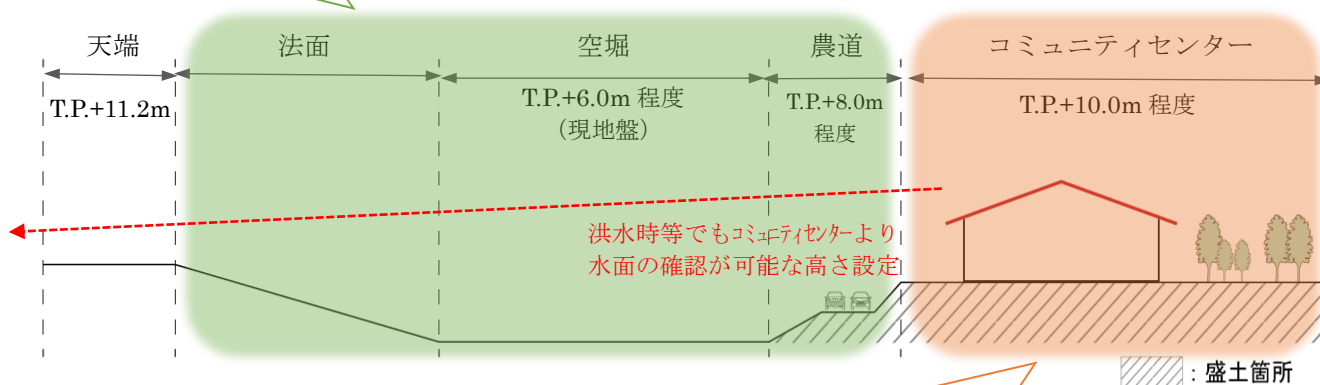
甚大な被害を受けた中粕川地区では、吉田川河川堤防の強化改修によって、これまでよりも安全性は高まるものと考えられます。しかし、近年の災害発生状況を考えた場合、万が一への備えも必要と考え、以下の3つの視点により、安心して住まえる地域づくりを目指します。

- ① 堤防からの越水被害抑制のための防御措置（嵩上農道・空堀）
- ② 防災拠点整備（拠点建物、防災広場）
- ③ 現地再建希望者のための嵩上宅地の整備



ポイント1：「小堤」としての機能

- ・コミュニティセンター計画地に隣接する農道を現地盤より 2.0m 程度嵩上げし、堤防と農道との間の空間を「空堀」的に利用します。



ポイント2：コミュニティセンター（防災拠点）の役割

- ・災害時の水面確認も可能な高さの確保や万が一の避難場所として機能する、高上宅地よりも高い地盤で防災拠点となるコミュニティセンターを整備します。

(2) 繋がりを大切にする地域づくり

地域防災拠点としての位置づけも兼ねるコミュニティセンターでは、被災により中粕川地区を離れてしまった住民や住宅を他地域に移した住民なども集まりやすい場所としての整備を検討します。また、旧小学校用地や、今回の被災により土地を手放す方々等のご協力を得ながら、集落のシンボルでもある糟川寺を地区内で再建することを目指します。

(3) 未来へ続く地域づくり

被災以前から地域の課題となっていた（雨水）排水環境の改善なども見直しを行い、安心・快適な地域づくりを行っていきます。

今回計画している「空堀」部分について、地域振興に資する平時での活用方策についても検討し、地域の活力強化を図ります。

また、地域で頑張る若い世代の考えや要望が反映される復興まちづくりを進めていきます。

3. 地域づくりのための手法

- ・これら復興再生に向けた事業を円滑に進めるために、「都市防災総合推進事業」等の活用について関係機関との協議を進めていきます。

○調査設計関係
復興まちづくり計画策定支援（1/2）

○復興に向けた公共施設等整備
災害に強いまちに復興するための公共施設等整備（1/2）
：道路整備
：排水路整備

○復興まちづくり施設整備助成（1/3）
：コミュニティセンター（検討）

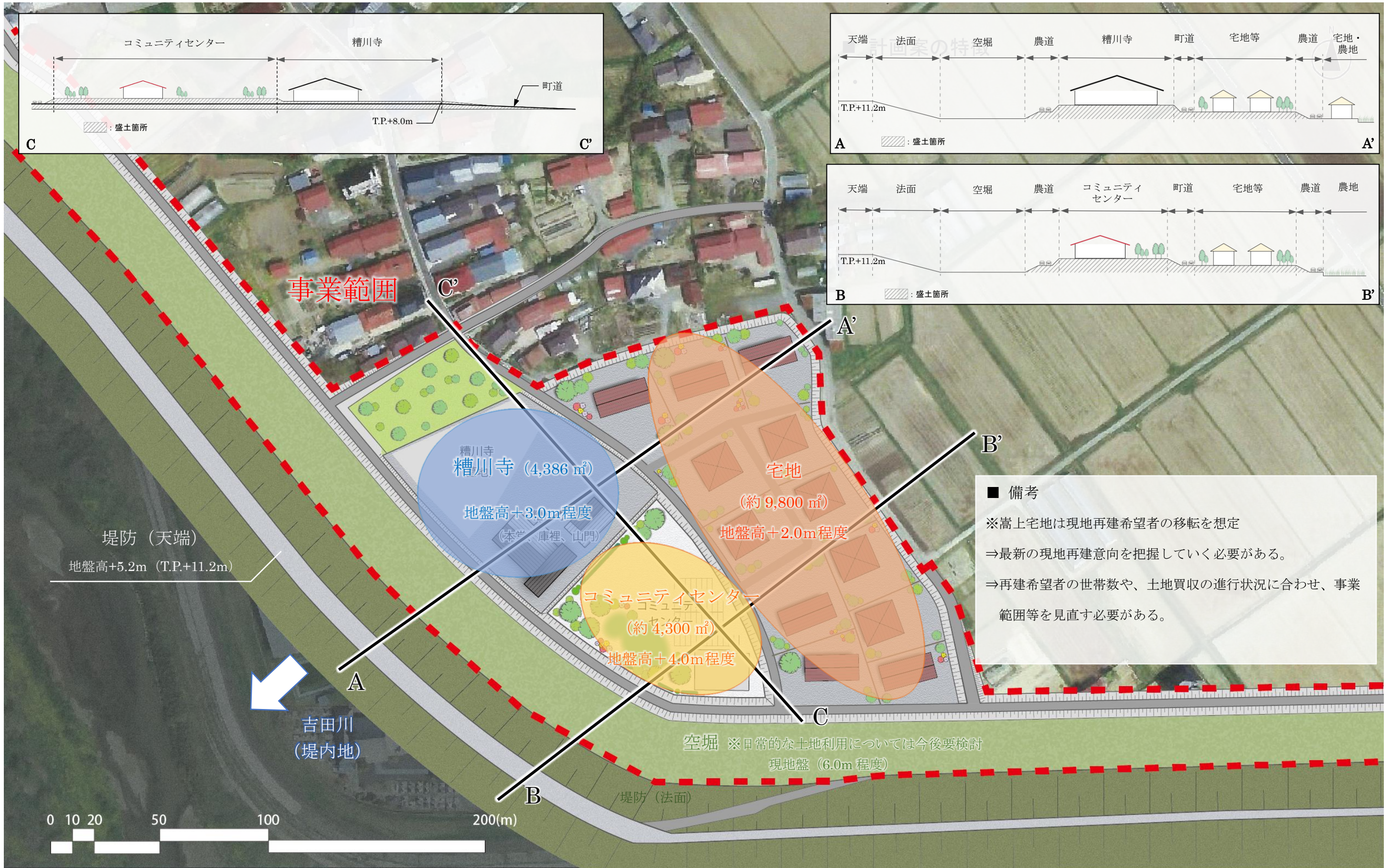
【都市防災総合推進事業】の支援メニュー
（ ）内は補助率

4. 復興に向けたスケジュール（案）

※調査結果や関係機関協議、補助金採択等の状況により変更の可能性があります。

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
各種調査・計画 ※国、関係機関との計画調整			
	事業計画・実施設計		防災拠点等整備 分譲地引き渡し
	※用地関係の整理	造成工事等	

中粕川地域 復興再生のための地域づくり計画(案)



■ 備考

- ※嵩上宅地は現地再建希望者の移転を想定
- ⇒最新の現地再建意向を把握していく必要がある。
- ⇒再建希望者の世帯数や、土地買収の進行状況に合わせ、事業範囲等を見直す必要がある。

